

皆さん、桜の木とクビアカツヤカミキリとの関係をご存じだろうか。
各自治体のHPを開けると自治体が住民に呼びかけている。

実は猛暑も過ぎた頃、散歩を始めた。
そこで見たのがクビアカツヤカミキリの桜の木へのいじめである。

クビアカツヤカミキリは樹皮を破り内部に幼虫を生み、幼虫が木の内部を食い散らす。

その幼虫の糞と木屑が外に出される。フラスと言う。

桜の木は弱って、枯れか倒れる。花どころではなさそうだ。

小生は散歩中に東西約3kmの川沿いの桜の木330本を点検した。

その結果、侵食された木は197本に達した。樹皮の硬い若年、壮年木には被害がないが、我々のような高齢木は殆どと言っても良い80%が侵食されていた。

逃げられない、声も出せない桜の木が本当に気の毒に思えた。

直ぐに埼玉県、本庄市役所にも報告した。埼玉県から現地調査をしたいが立ち会ってもらえるかと打診があった。

無論、OKした。皆さんも散歩がてら桜の木の足元を見て下さい。

若し見つけたら自治体の環境関係組織に一方を連絡してみてください。

